

# 9月1日は **防 災** の日 ～災害対策をしましょう～

問総務課 ☎⑤6703

災害による被害をできるだけ少なくするためには、まずは一人一人が自分の身の安全を守ることが基本となります。また、災害時のために水や食料などの備えも必要です。

9月は台風や大雨の多い時期であり、災害が発生する恐れが高くなることから、事前に家庭で災害への備えを確認し、市からの情報、テレビなどの報道を確認して命を守る行動を取りましょう。

## ◆家庭での備え

- ▶日常的に食べているレトルト食品などを少し多めにそろえ、消費した分を買い足す備蓄方法（ローリングストック）で、常に新しい食品を備蓄しましょう。
- ▶地震の際に、転倒、落下の恐れがある家具や電化製品を固定する、高い所に物を置かないなど、室内の安全性を高め、けがを防ぎましょう。
- ▶防災ハザードマップ、市ホームページなどで災害の危険がある場所や、自宅、学校、職場などからの最寄りの避難所と避難経路を確認しておきましょう。
- ▶地域の人たちと災害について話し合い、自分が住んでいる地域の防災について考えましょう。
- ▶自分たちの地域を自分たちで守るため、自主防災組織をつくり避難訓練を行うなど地域の防災力を高めましょう。

## ◆非常時の持ち出し品の確認

- ▶災害の発生や避難する際に備え、普段から非常時の持ち出し品を準備しましょう。
- ▶持ち出し品は、家族構成や各家庭の事情に合わせて必要な物をそろえましょう。
- ▶非常時に慌てて探すことがないように、持ち出し品は玄関など目に付く場所に置きましょう。

## ◆災害が発生した際の行動

- ▶慌てずに、まずは自分の身を守る行動をとりましょう。
- ▶テレビ、ラジオなどから正確な情報を入手しましょう。
- ▶避難する際には、火の始末を確認し、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切り、落ち着いて行動しましょう。

## 備蓄しておくもの

- ▶懐中電灯
- ▶ラジオ
- ▶電池
- ▶ライター
- ▶簡易ガスコンロ
- ▶使い捨てカイロ
- ▶食料と1人1日3リットルの飲料水（3日分を目安に）など

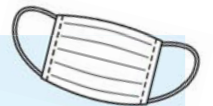


※赤ちゃん、高齢者、女性、持病・アレルギーのある人などがいる家庭では、日ごろ使っている物を考慮し、それぞれの人に必要な物を備蓄しておくようにしましょう。

## 避難するときに持って行くもの

- ▶貴重品…現金、印鑑、保険証、預金通帳、身分を証明できる物など
- ▶衣類・洗面道具…下着、靴下、厚手の上着、眼鏡（老眼鏡）、歯みがき道具、入れ歯、せっけん、シャンプー、女性用品、紙おむつなど
- ▶水・食料品…飲料水、非常食、粉ミルクなど
- ▶その他…体温計、マスク、消毒液、スリッパ、ゴミ袋、懐中電灯、携帯ラジオ、充電器（電池、手回し式）、軍手、ライター・マッチ、ティッシュ、使い捨てカイロ、雨具、救急医療品、お薬手帳、常用薬など

## 【コロナ禍における避難所での感染症対策について】



- 新型コロナウイルス感染症がまん延する状況で、大規模な風水害などが発生したことを想定し、平時から事前準備や災害時の避難行動について確認しておきましょう。
- 避難所では不特定多数の人が集まります。新型コロナウイルスに感染した人がいた場合、<sup>ひまっ</sup>飛沫感染や空気感染によるクラスターが発生する恐れがあります。感染症対策として、手洗い、アルコール消毒、マスクの着用などの対策を心掛けましょう。
- 避難所では、備蓄衛生用品としてマスクやアルコール消毒液などを準備していますが、避難する場合はできる限り必要なものは自分で持参しましょう。